


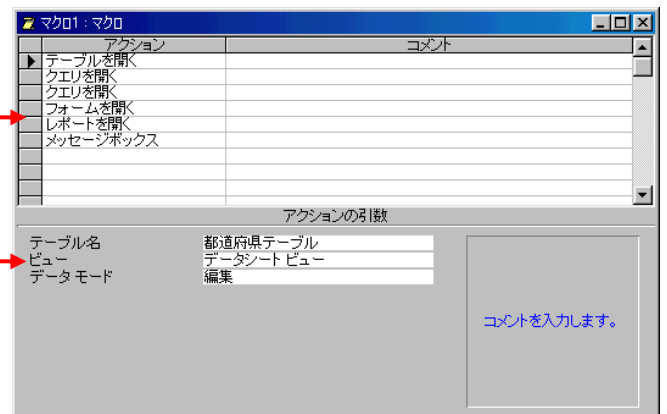
マクロ

マクロとは？

「マクロ」とは、「テーブルを開く」、「フォームを開く」、「レポートを印刷する」といった Access の操作を、連続して、自動的に行うための機能です。「マクロ」によって、定型的な繰り返し操作をワンタッチで実行することができます。

マクロの作り方

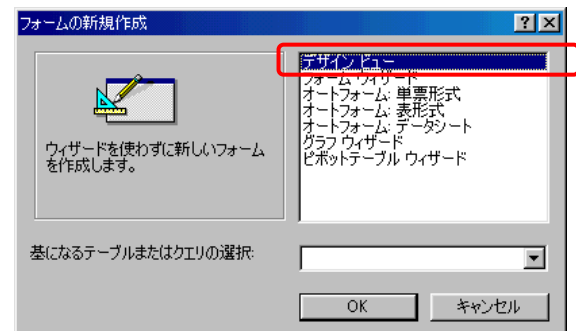
- データベースウィンドウのマクロ画面で、[新規作成] ボタンをクリックします。
- マクロのウィンドウで、任意の「アクション」を選択します。
- アクションの引数を指定します。
- マクロを実行するには、マクロを保存したあと、メニューの[実行]-[実行]を選択するか、ツールバーの  ボタンをクリックします。



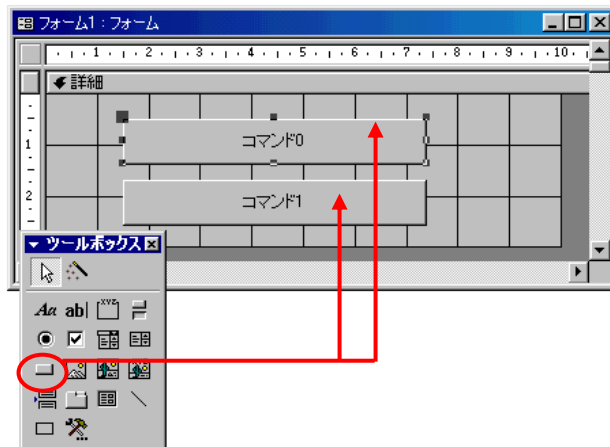
マクロの利用法

マクロは、データベースウィンドウから実行するだけでなく、フォームのボタンなどに割り当てることもできます。それによって、画面上のボタンをクリックすることによってさまざまな処理を自動実行させるとい、オリジナルのメニュー画面を作ることもできます。

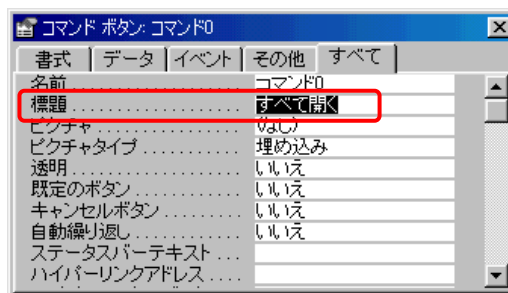
- まず空のフォームを新規作成します。ここでは、「フォームの新規作成」画面で「デザインビュー」を選択します。



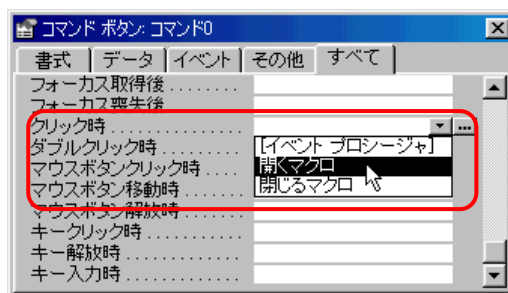
- フォームに、ツールボックスから2つの「コマンドボタン」を挿入し、適当な位置とサイズに配置します。



- 各ボタンの「**タイトル**」プロパティを設定します。「タイトル」プロパティには、実際に、画面のボタン上に表示される文字を指定します。



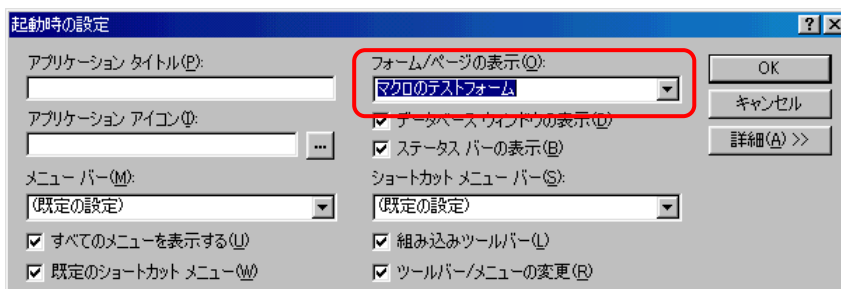
- 各ボタンの「**クリック時**」イベントの欄に、ボタンがクリックされたときに実行したいマクロ名を指定します。



フォームを開いて、それぞれのボタンをクリックすると、指定されたマクロが実行されます。



このようなメニュー機能を持ったフォームを、データベースファイルを開くと同時に表示させるには、メニューから[ツール]-[起動時の設定]を選択し、「**フォーム/ページの表示**」にそのフォーム名を指定します。

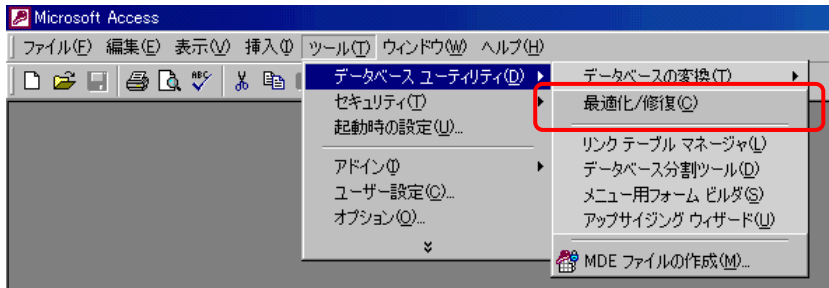


補足

データベース全般の操作

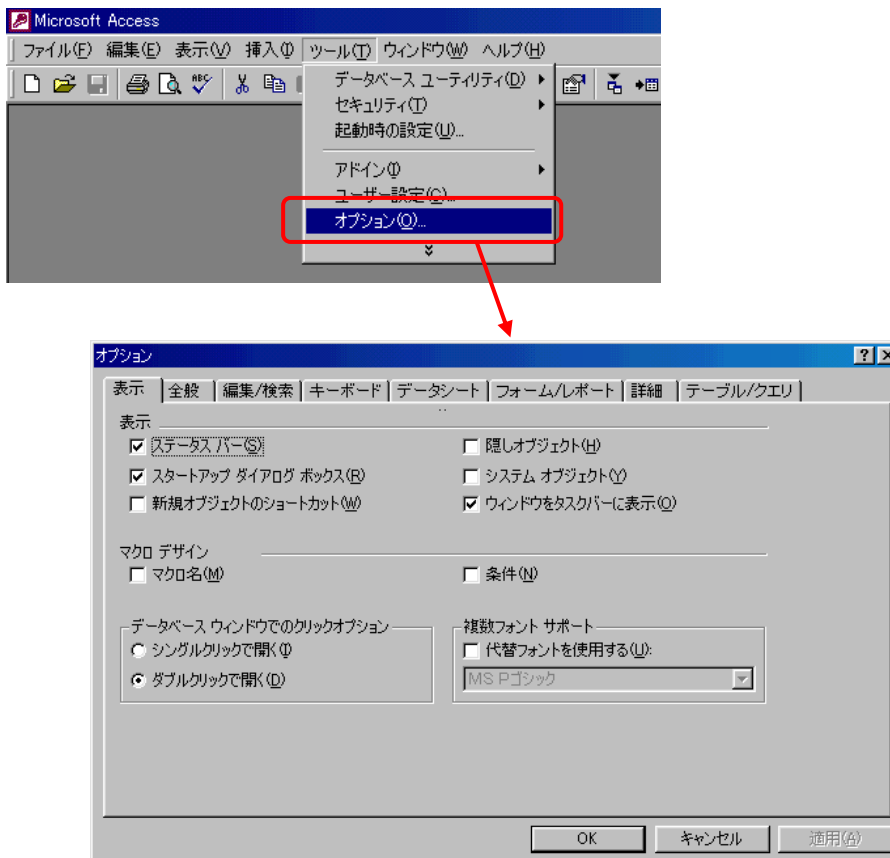
●データベースの最適化/修復

Access のデータベースファイルは、レコードの削除を行っても、その分ファイルサイズが小さくなることはありません。見た目にはレコードが消えていても、内部的にはまだ残っています。「最適化/修復」を行うことによって、それらの削除レコードをファイル上から完全に削除し、ファイルサイズを小さくすることができます。



●オプションの設定

[ツール]メニューから表示される「オプション」画面を使うと、Access の全般的な動作や設定を変更することができます。



総合演習

「商品マスタ」テーブルと「売上実績」テーブルをクエリで結合し、次のようなオブジェクトを作ってください

- 売上実績一覧表(クエリ)
- 売上高トップ 10 商品(集計クエリ)
- 売上高順商品一覧(集計クエリ)
- 売上高順商品一覧テーブル(作成クエリ)
- 商品マスタの単価を 1.05 倍する更新クエリ
- 商品マスタ入力画面(フォーム)
- 売上実績一覧表(レポート)

売上実績一覧表(クエリ)

The screenshot shows the '売上実績一覧表クエリ' (Sales Performance Summary Query) design view. It features two tables: '売上実績' (Sales Performance) and '商品マスタ' (Product Master). The '売上実績' table has fields: ID, 売上日付 (Sales Date), 商品コード (Product Code), and 売上数量 (Sales Quantity). The '商品マスタ' table has fields: 商品コード (Product Code), 商品名 (Product Name), and 単価 (Unit Price). A relationship line connects the '商品コード' field in both tables. The field list at the bottom shows the following fields and their sources:

フィールド:	売上日付	商品コード	商品名	単価	売上数量	売上高: [単価]*[売上数量]
テーブル:	売上実績	売上実績	商品マスタ	商品マスタ	売上実績	売上実績
並べ替え:	昇順	昇順				
表示:	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
抽出条件:						
またよ:						

売上高トップ 10 商品(集計クエリ)

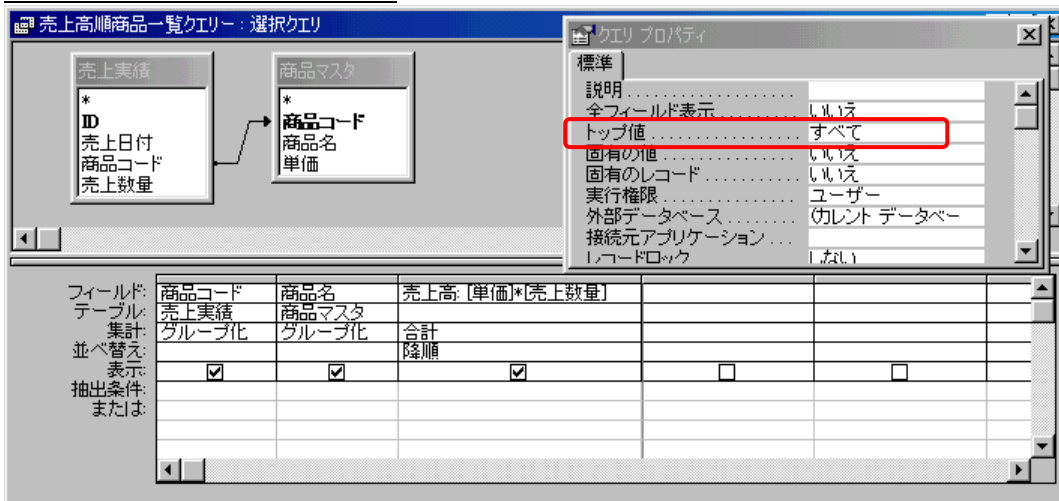
The screenshot shows the '売上高トップ10商品クエリ' (Top 10 Sales Products Query) design view. It features two tables: '売上実績' (Sales Performance) and '商品マスタ' (Product Master). The '売上実績' table has fields: ID, 売上日付 (Sales Date), 商品コード (Product Code), and 売上数量 (Sales Quantity). The '商品マスタ' table has fields: 商品コード (Product Code), 商品名 (Product Name), and 単価 (Unit Price). A relationship line connects the '商品コード' field in both tables. The field list at the bottom shows the following fields and their sources:

フィールド:	商品コード	商品名	売上高: [単価]*[売上数量]
テーブル:	売上実績	商品マスタ	売上実績
集計:	グループ化	グループ化	合計
並べ替え:			降順
表示:	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
抽出条件:			
またよ:			

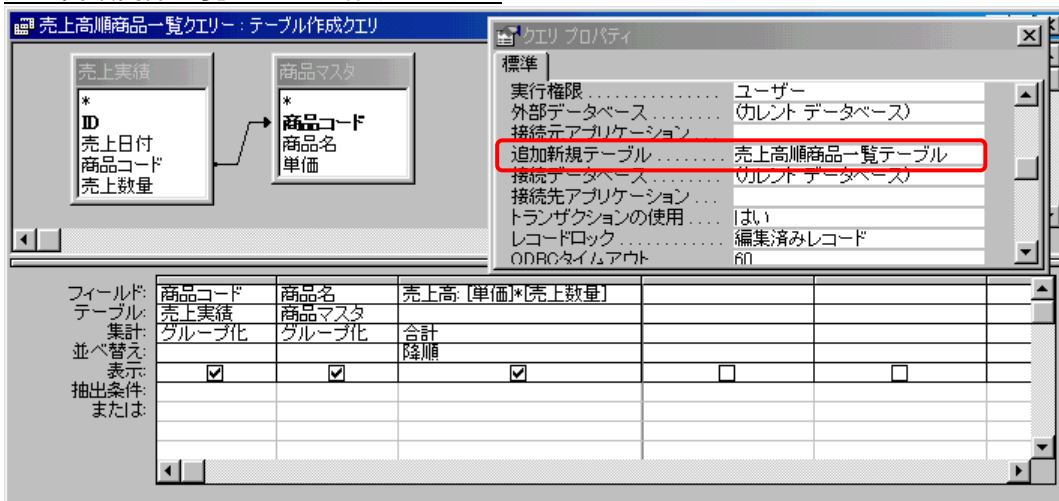
The 'クエリプロパティ' (Query Properties) dialog box is open, showing the following settings:

標準	説明	値
全フィールド表示	はい/いいえ	はい
トップ値	10	10
固有の値	はい/いいえ	はい
固有のレコード	はい/いいえ	はい
実行権限	ユーザー	ユーザー
外部データベース	(カレント データベ	(カレント データベ
接続元アプリケーション		
レコードロック	はい/いいえ	いいえ

売上高順商品一覧(集計クエリ)



売上高順商品一覧テーブル(作成クエリ)



商品マスタの単価を 1.05 倍する更新クエリ

